平成 30 年 10 月発行　第 62 号

喜らめき銀河タイムス

社会福祉法人渓仁会　経営理念

一．安心・安全

二．信頼・満足

三．地域に貢献

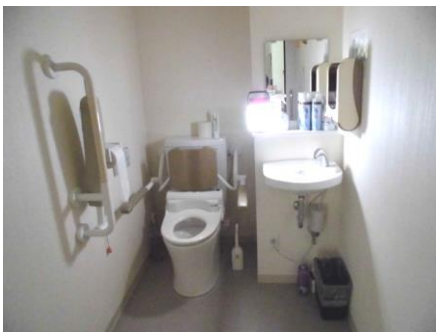
北海道胆振東部地震に伴う停電対応の報告

北海道胆振東部地震で被災された方々には心からお見舞い申し上げます。第６２号の喜らめき銀河タイムスでは、平成３０年９月６日未明に発生した北海道胆振東部地震による停電が長時間継続したことによる施設の対応についての詳細をお伝えします。

停電発生時より各施設に設置されている自家発電装置が自動的に起動。軽油２８リットルが入り、一回の給油で約６時間の間、非常電源への電力供給が可能です。

非常電源から炊飯ジャーへの電力供給により普段と変わらない食事を提供。今回の停電では備蓄している非常食は使用せず、通常の食材を使用した食事を提供しました。

通常は温冷配膳車を使用して、各ユニットへの食事提供となるが、配膳車は使用できず、またエレベーターも停止したため、１階から２階まで各部署の職員で配膳を実施しました。



断水にはならず、直圧式ポンプの各施設ではトイレの使用は普段どおり行えましたが、トイレ内の電灯はランタンを使用し各所に配置しました。

厨房で使用している業務用冷凍・冷蔵庫は使用できず、ポータブル発電機にて冷蔵庫での食品保管を実施しました。

職員玄関から入った先の職員用ロッカー・職員トイレ前の様子です。各所に懐中電灯とペットボトルで簡易ランタンを作成し設置しました。

今回の地震による停電では、各施設が普段から備蓄している物品の過不足や設備の使用方法などの、非常災害時の対応について総合的に確認することができました。地震による影響で体調を崩されたご入居者もおらず、また建物への影響も特に確認されていませんが、電力が無い事での生活への影響が非常に大きいことを再認識しました。
今後、最悪の事態（厳冬期に起こる停電）を想定した準備を更にすすめ、これまで以上に安心な施設での生活を提供できる体制を整えていきたいと考えております。
１０月の上旬には、例年この時期に実施している、非常用ガスストーブの使用方法について訓練を行う予定です。

きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜

敬老会を開催しました。

喜茂別町より菅原町長・留寿都村より場谷村長が施設に来所され、各ユニットを回りながら米寿のお祝いやお祝いのお言葉をいただきました。今回は地震の影響により、例年と比べ、規模を縮小した形での開催となりましたが、両町村の関係者の協力得てこのような敬老会を開催することができました。ご協力ありがとうございました。